

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|--------------------|------------|--|
| 事業所番号 | 3392700013 | | |
| 法人名 | 有限会社ベルヴィ | | |
| 事業所名 | やすらぎホーム鴨方 (1Fユニット) | | |
| 所在地 | 岡山県浅口市鴨方町深田439-1 | | |
| 自己評価作成日 | 平成21年12月22日 | 評価結果市町村受理日 | |

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

| | |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | http://kaigo-kouhyou.pref.okayama.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=3392700013&SCD=320 |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | |
|-------|--------------------------------------|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 ライフサポート |
| 所在地 | 岡山県岡山市北区南方2丁目13-1 県総合福祉・ボランティア・NPO会館 |
| 訪問調査日 | 平成21年12月26日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

高齢者の知能や性格、行動障害などについて把握し、それぞれの業務の中で「心のケア」「よりそうケア」を提供できるようケアチーム自体の活性化を図っている。また家族のさまざまな悩みを共に受け止め家族同士の支えあいも促進できるよう業務に望んでいる。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「家族の声は最良の教科書」「いつも笑顔でやさしい声かけを」等、事務所に代表者が掲げている願いを職員はしっかりと受け止め遵守様子が今日一日の訪問でよく理解できた。中でも「生存ケアより心理ケア」については、管理者は特別な配慮や職員の指導を徹底しているように感じられた。利用者はそれぞれが自分らしさを発揮したり、遠慮することなく自分を主張して職員はそれらの対応に頭を悩ます事も多いようだ。しかし、より良い対応をお互いに話し合い共有し、チームワーク良い「職員の和」がこのホームの特長だろう。家庭の事業で退職した人もよく遊びに来てくれるホームの居心地の良さは私達も今日ここに居て実感した。

・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | | 取り組みの成果 該当するものに印 | 項目 | 取り組みの成果 該当するものに印 |
|----|--|---|----|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) |
| 57 | 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) | 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない | 66 | 職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12) |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Alt+)- + (Enter+)-です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------|-----|--|---|---|--|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | (1) | 理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 事業所と地域とのふれあいを大切にし職員は日々入居者に係わる際理念を具体化していくことを意識して取り組んでいる。 | 定期的なカンファレンスの中や日常的な話し合い、申し送りの時期に、理念に準ずる話し合いを常に行っている。例えば、「尊厳の念を持って接しよう。楽しいと思える自由な暮らしを目指そう」といつも念頭に置いている。 | ホームの理念については職員は良く理解し、思いを共有しているため、更にステップアップを目指すため、それらをより具体化し、短期間で評価可能な小目標を皆で決め実践してみたい。 |
| 2 | (2) | 事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 地域の行事など積極的に参加し人々との関わりをもつ。また地域の草刈、お祭りなど利用者と一緒に参加している。 | 運営推進会議も一つのきっかけとなって地域からの誘いや提案も実現しており、例えば地域行事の草刈りや夏祭り等でうれしい交流が見られる。祭りの応援を積極的にしてくれる近所の人も居る話も聞いた。 | |
| 3 | | 事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 地域の行事など積極的に参加し人々との関わりをもつ。また地域の草刈、お祭りなど利用者と一緒に参加している。 | | |
| 4 | (3) | 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 会議では事業所からの報告をするなど、質問、意見を受け次回の推進会議で経過を報告し意見をもらうようにし、情報交換にも配慮している。 | 市の高齢者支援課の課長・民生委員・地区組長・家族代表等の参加で、とても有意義な意見交換・提案・お誘いが見られる。ホームからの報告や要望もある。次年度は計画を練り直し確実な開催を考えている。 | 市からも助言があったようだが、利用者も参加できる内容も加味したい。ここでの暮らし方や利用者のありのままの様子を知ってもらおう事でグループホームの理解が更に深まるのではないかと思う。 |
| 5 | (4) | 市町村との連携 市町村担当者とは頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | 推進会議等でも情報を共有しているが利用状況についても理解や支援を頂いている。 | 浅口市は積極的な姿勢で高齢者福祉政策に取り組んでいて、ホームとの連携も密で指導性もよく見られるため、ホームとしても情報を得やすかったり、同業者間の交流・連絡も定期的になされている。 | |
| 6 | (5) | 身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 職員自身が身体拘束を理解し拘束のないケアを実践している。外出願望の強い利用者については見守りを徹底し様子を察知したらスタッフが同行し安全面に配慮している。 | 玄関や入り口の施錠について、現在の状況では致し方ないと判断しているが、今後も検討していく。その他の禁止対象の行為はないが | |
| 7 | | 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | カンファレンス、会議等で高齢者虐待に関する理解と徹底防止に努めている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|-----|---|--|---|---|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 利用者の中で成年後見制度を活用している人がいるため管理者が随時、職員に説明、アドバイスを行っている。 | | |
| 9 | | 契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 契約時には契約書を参照し丁寧に説明している。また重度化や看取りについての対応も詳しく説明し同意を得るようにしている。 | | |
| 10 | (6) | 運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 家族には面会時、施設の行事等で意見が言えるような雰囲気づくりに留意している。 | 年に3回程度は家族に参加してもらう行事を計画し、家族同士の話し合いや意見を言うチャンスを作っているし、日頃の家族の訪問時に、職員が全員誰とでも話しあえる状況を作っておいて、意見・要望を聞いている。 | 運営推進会議や日常生活の中で、利用者が運営に関わるような意見を述べる事ができるような場や雰囲気を設定してみたい。今の状況なら上手く設定すれば可能ではないかと思われる。 |
| 11 | (7) | 運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | ミーティング、会議等で意見を聞く機会をもつようにしている。 | 定期的な会議等で意見を聞いたり、毎回の申し送り時、また、日頃の会話の中でも意見を交換している。ただ、記録ノートからだけ見ると、ホーム運営に関する討議や提案の記録は少ないので、もっと議題に取り上げ、メモしておきたい。 | |
| 12 | | 就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 各自が向上心を持って働けるように努力や成果については評価している。 | | |
| 13 | | 職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 新人職員には外部研修が受講できるような機会を作っている。 | | |
| 14 | | 同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 事前に連絡があり関連の事業所などと学習会交流を持つことでサービスの質の向上をはかっている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------------|-----|---|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | 初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 事前面接で家族より生活状況を把握し利用者の要望や不安を理解するよう努めている。 | | |
| 16 | | 初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 事前面接で家族の不安、要望を聞き取り対応できるよう努めている。 | | |
| 17 | | 初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 本人、家族の要望に対し必要に応じて他のサービスの利用の調整も行う。 | | |
| 18 | | 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 共に支えあえる関係づくりに留意している。 | | |
| 19 | | 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 職員は家族の思いに寄り添いながら家族と共に支えあっている。 | | |
| 20 | (8) | 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 利用者一人ひとり生活習慣を尊重し地域、知人等継続的な交流が出来るよう支援している。 | 地元の利用者が多いため、近所の人や友達・近くの親族の訪問が多い。職員は出来る限り「又来てみようか」と思ってもらえる様、お茶を出す等、話しやすく居心地良い雰囲気を作ろうと気を配っている。 | |
| 21 | | 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | スタッフが個別に話しを聞いたり、みんなで合唱をしたり大正琴の弾ける利用者と共に仲良く歌を唄ったりして利用者同士が仲良くするようスタッフが調整役となり支援している。利用者同士の状況を日々の申し送りの中でスタッフ同士が共有する。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---------------------------------|------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | | 関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | サービス利用が終了した方のご家族を餅つき会に招待したり他事業所に移られた方を訪問し家族の方と綿密な連絡をとり新しい住まいでもこれまでの暮らしが継続出来るよう情報提供しきめ細かい連携を心がけている。 | | |
| その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | (9) | 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 日々のかかわりの中から声掛けにて把握に努めている。意思疎通が困難な方にはご家族の関係者から情報を得るようにしている。 | 「ここでは自由に外に出られない。食事の時間も決まっている」と訴える人に対して、可能な限り本人のペースや意向を受け入れられるよう努力をしている。「あゝしたい、こうしたい」と訴えられる雰囲気がとても良いと思う。 | |
| 24 | | これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | ご家族の方の来訪時にその人独自の生活歴とかライフスタイルの情報を把握しスタッフの共有の情報としてミーティング等で平準化している。 | | |
| 25 | | 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 利用者の生活リズム理解し行動や小さな動作から本人の全体像を把握している。毎日のリハビリ、ぬり絵等の手助けをぜ全員が日々行い総合的に見つめ目を養うようにしている。 | | |
| 26 | (10) | チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | ご本人や家族には日々のかかわりの中で思いや意見を聞き反映させるようにしている。アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。 | 定期的なケアカンファレンスでモニタリングを確実に実施しているが、ここでは日々の申し送り時にミイカンファレンスを行っている。担当制とし、職員が責任を持ってその一人と向き合っているが、全員でもよく関わっている。 | |
| 27 | | 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 個別にファイルを用意し食事、水分量、排泄等日々の暮らしの様子、本人の言葉など記録、状態変化なども個々のケア記録に記載し介護計画の見直しを実施している。 | | |
| 28 | | 一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 本人家族の状況に応じて通院や送迎等必要な支援は柔軟に対応し個々の満足度を高めるよう努力している。行事等で家族が参加する場合は家族のかたへ食事の提供などの声掛けをしている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|--|--|--|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 | | 地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 推進会議等で民生委員と意見交換をする機会を設けたり支援センターの職員が参加し支援に関する情報交換、協力を得ている。 | | |
| 30 | (11) | かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 本人家族が希望するかかりつけ医となっている。また通院、受診はすべて施設にて対応。普段の様子や変化を伝えるようにしている。 | それぞれのかかりつけ医との連携はよく取れており、状況によっては往診もしてもらえ。10月からはホームの看護師が受診介助に加わるようになり、医師との連絡など今まで以上に医療体制が強化されている。 | 現在は色々な理由があって、全職員が皆と一緒に食事をしているとは限らないが、「利用者と職員が同じ食事をいただきながら、少しは話題も膨らませ食事時間を楽しむ」良さも検討し続けて欲しい。 |
| 31 | | 看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 看護職員を配置しており常に利用者の健康管理や状態変化に応じた支援を行えるようにしている。体調やささいな表情の変化を見のがさないよう早期発見に取り組んでいる。変化等気づきがあれば看護師に報告し適切な医療につなげる。 | | |
| 32 | | 入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている | 入院時には本人への支援方法に関する情報を医療機関に提供し定期的に職員が見舞うようにしている。家族、医師等話し合いをしながら退院支援に結びつけている。 | | |
| 33 | (12) | 重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 重度化した場合や終末期支援に対しては本人家族の意向を踏まえ医師、職員が連携をとり安心して最期を迎えられるよう支援する。その際同意書をもらう | ホームの開設より4年目となるが、今までに2名の看取りを経験した。本人・家族が希望し、状況が整えば今後もターミナルケアに取り組む方針である。兼務ではあるが看護師の存在は心強い。現在も必要な時は点滴治療をよく目の届くりビングの畳のコーナーで行っている。 | |
| 34 | | 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 救急車が到着するまでの応急処置や準備すべきことについてケースの想定をしながら勉強会や話し合いを繰り返し行っている。また夜勤時の対応についてマニュアルを整備し周知徹底を図っている。 | | |
| 35 | (13) | 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 消防署の協力、防災関係の方の協力を得て避難訓練、消火器の使い方など訓練を行っている。 | 11月に火災を想定した避難訓練を実施し、消防署の指導・協力も得ている。反省点として2階の利用者の避難に問題が残り、来年度は2回の訓練を計画している。スプリンクラーの設置も予定している。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | (14) | 一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 年長者として敬意を払い援助の必要な時も先ず本人のの気持ちを大切に考えてさりげないケアが出来るようにミーティング、カンファレンス等で全職員で話し合い誇りやプライバシーについて常に具体的に確認している。 | 元看護師さんや助産婦さんはここで働いている積もり。「この年になって働けるなんて！」という言葉も聞ける。こんな本人の思いを大切に、日頃の話し合いや会議でよく事例を出し合い「こうしたら良かった」を職員間で共有している。 | |
| 37 | | 利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 本人に合わせて声掛けをし表情を読み読み取ったりして本人が決めやすいように飲み物、食べ物を決めていただいたりしている。 | | |
| 38 | | 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 入浴や行きたい所への外出(自宅、買い物)したり本人のサインを読み取り個別の対応している。 | | |
| 39 | | 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 朝の着替えは基本的に本人の意向で決め手おり職員は見守り支援が必要な時に手伝うようにしている。スタッフも一律のユニホームでなく職員の個性を生かした生活感のある装いで生き生きとした暮らしをしている。 | | |
| 40 | (15) | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている | 配色サービスを行っているが極力調理、片付け等利用者と共に行い食欲が湧くようにしている | フードケアサービスを利用しているが、届いてから味付けやキザミを加える等、一人ひとりに合わせた工夫をしている。暖かな汁物も加えている。料理担当の職員も配置。利用者は食欲も旺盛で食事介助も少ない。 | |
| 41 | | 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 一日全体を通じた食事量、バランス、飲水量が分かるように記録をその都度記入し全スタッフが確認できるようにしている。また一日の総摂取量も把握している。 | | |
| 42 | | 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 本人の状態に合わせて食後は洗面所にて出来る方は声掛け見守りをし出来ない方は毎食後ケアを支援する。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|--|--|---|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | 排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | トイレでの排泄を大切にするため排泄チェック表を使用し尿意のない利用者にも時間を見計らって誘導することでトイレで排泄できるよう支援している。 | 自分の力で排泄する事は、人としての尊厳を守る基本と考え、自立支援に力を入れている。尿意の意志表示がない人も座ると排尿可となる事も多く、昼間は全員おむつを使用せず、リハビリパンツかパットで対応している。 | |
| 44 | | 便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 排泄パターンを記録し便秘気味の方には牛乳等で十分な水分補給を行っている。 | | |
| 45 | (17) | 入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている | 職員が入浴表により順番を決めて入浴をすすめるが本人の希望、体調を確認し入っただけではない。 | 長期入浴拒否で支援が困難な人や、ある拘りがあって希望を言う人も居るが、できる限り本人の意向に沿った対応をしている。もちろんバイタルチェックをして体調管理をしてから入浴している。足湯も良くしている。 | |
| 46 | | 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 夜間眠れない方にはなるべく日中の活動を促し生活リズムを整えるよう努めている。眠剤を服用しているかには睡眠状況を把握し日中の活動の妨げになっていないかを確認している。 | | |
| 47 | | 服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 処方せんのコピーを整理し職員が内容を把握出来るようにしている。服薬時は本人に手渡しまたは口の中へ誘導しきちんと服薬出来ているか確認をしている。 | | |
| 48 | | 役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 得意分野で一人ひとりの力を発揮してもらえようようお願い出来るような作業(花だんの手入れ、水やり、畑仕事等)を頼み感謝の言葉を伝えるようにしている。 | | |
| 49 | (18) | 日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している | 一人ひとりの習慣や楽しみごとに合わせてお弁当を持って近くの公園に出かける等積極的に外出している。 | 花見等の合字で野外出の他にドライブや買物・ちょっとした散歩等をしている。利用者の中には「墓参りをしたい」とか「家に帰りたい」等、外出を希望する人も居るようだが、なかなか十分に答えられないと聞いた。 | 外出支援が今の勤務体制では難しいようであれば、家族や地域のボランティアさん達に協力を得られるよう働き掛けを強化してみてはどうか。運営推進会議でも取り上げてみたい。 |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 | | <p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p> | <p>金銭の所持についてはご家族ごとに様々な意向を持っているが所持金を持っていただけるよう家族と相談しながら支援している。</p> | | |
| 51 | | <p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p> | <p>家族や友人などに電話しやすい雰囲気づくりや職員からの声掛けを行うようにしている。利用者の希望に応じて日常的に電話や手紙を出せるよう支援している。</p> | | |
| 52 | (19) | <p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>個々の利用者の居心地、安心出来る場所として生活出来るよう飾り付け、装飾品は工夫している。カレンダーも見やすい場所に設置している。</p> | <p>職員の飼い犬と一緒に出勤し、利用者の仲間になっている。「ウンチしたら、した言われえよ」と話しかけたり世話も焼いている。ユニットで雰囲気は異なるが作品作りが盛んな2Fでは数々の自慢作が見られる。</p> | |
| 53 | | <p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p> | <p>食堂やリビングは一体的なつくりで全てが視界に入りやすくしている。落ち着いてくつろげるスペースづくりに取り組んでいる。</p> | | |
| 54 | (20) | <p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>居室の環境はタンス、ベットは備え付けであるがその他の品は利用者の思い出の物を自由に持ち込むことが出来るようにし居心地のよさを配慮している。</p> | <p>家族に入所前に慣れた家具等の持ち込みをお願いしているが、テレビ以外の物を持ち込んでいる人はあまり多くない。このホームでは、日中リビングで皆と一緒にワイワイと楽しく過ごしたい人が多いのかも知れない。</p> | |
| 55 | | <p>一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p> | <p>利用者の身体状況に合わせ手すりを付けたり玄関をスロープ化したりしている。一人ひとりが分かるように必要な目印を付け物の配置に配慮している。</p> | | |